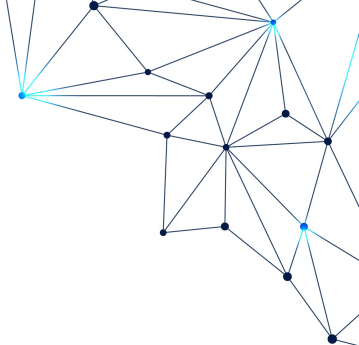




気象データの価値を デジタルマーケティングに活かすには？

2021.3.5 WXBCセミナー in 大阪

YuMake合同会社 代表社員CEO 佐藤 拓也

凸版印刷株式会社 西日本事業本部 関西TIC本部
デジタルマーケティング部 部長 半谷 圭介

佐藤 拓也 Takuya Sato

幼い頃から気象に憧れ大学院まで気象を学ぶ。SE、民間気象情報会社を経て独立し、YuMake合同会社を設立。気象データ活用と他社とのコラボレーションを通じて、新しい価値の創造に取り組む。

YuMake合同会社 代表社員CEO

総務省 地域情報化アドバイザー

一般社団法人コード・フォー・ジャパン アドバイザー

一般社団法人シビックテックジャパン理事

Code for Ikoma 代表

大阪市立大学 都市防災教育研究センター 特別研究員

NPO法人 琵琶故知新 理事

株式会社 地域計画建築研究所 STO





YuMake.LLC
ユメイク合同会社
Corporate Information

Weather Information for Everything
～ すべてのものを気象データで繋ぐ ～



気象情報提供・予報士サポート事業

気象情報データ提供・気象情報API (YuMake Weather API) 提供
気象センサーを配置することによるピンポイントデータ収集・活用
気象予報士による、気象状況判断支援・レポートサービス

YuMake Business Field



防災・減災ソリューション事業

気象防災セミナー、防災ソリューション開発
コミュニティ支援
(内閣官房・国土強靱化推進室 レジリ学園)



システムソリューション事業

Webサイト・Webシステム・サービス開発
シビックテック連携
オープンデータコンサルティング
アイデアソン・ハッカソン等の企画運営

YuMake Weather API



YuMake気象情報APIの特徴

- ① 使いやすいjson / jsonp 形式で提供
- ② 商用利用可能なAPI
- ③ 従量課金プランの低コストから始められる料金体系

[天気予報]

- ◆ 今日明日天気予報API
- ◆ 週間天気予報API
- ◆ 3時間天気予報API
- ◆ 時系列天気予報API
- ◆ 日射量予測API

[観測系情報]

- ◆ 推計気象分布API
- ◆ 日の出日の入りAPI
- ◆ 潮汐情報API
- ◆ 降水ナウキャストAPI
- ◆ 雷ナウキャストAPI
- ◆ 竜巻発生確度ナウキャストAPI

[防災情報]

- ◆ 特別警報・警報・注意報API
- ◆ 地震情報API
- ◆ 土砂災害警戒情報API
- ◆ 竜巻注意情報API
- ◆ 噴火警報API

データ分析向け過去データ提供



気象過去データ提供の特徴

- ① CSV形式で、まとまった期間のデータ提供
- ② データフォーマットのカスタマイズも可能
- ③ 観測地点の緯度経度、観測器の高さなどの情報も提供可能

[過去の天気予報]

- ◆ 今日明日天気予報
- ◆ 週間天気予報
- ◆ 時系列天気予報

[過去観測データ]

- ◆ アメダス
- ◆ 気象官署
- ◆ 平年値データ

[過去メッシュ情報]

- ◆ 推計気象分布（1kmメッシュ）
- ◆ 再解析データ（5kmメッシュ）
- ◆ 推計震度分布
（約500mメッシュ：3次メッシュ KML）

提供実績：アパレル、大学（研究用途）、小売、農業、建築、データビジュアライズ等

気象IoTソリューション

アメダス等の観測点がなく観測が必要な所について、気象IoTセンサーの提供を行っています。
複数分野で複数のセンサーの運用実績があるため、センサーの特徴を踏まえてご提案することが可能です。



[Netatmo (ネタトモ)]



[KOSENウェザーステーション]



[カメラ撮影対応 気象IoTセンサー]

データ可視化システム

2021年03月02日 データ

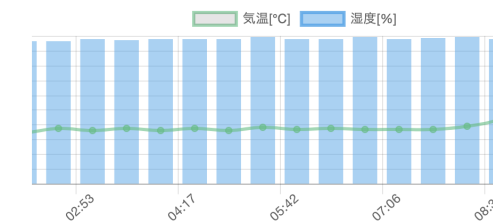
気温
20.5 °C

湿度
92.8 %

土壌水分
26.4 %

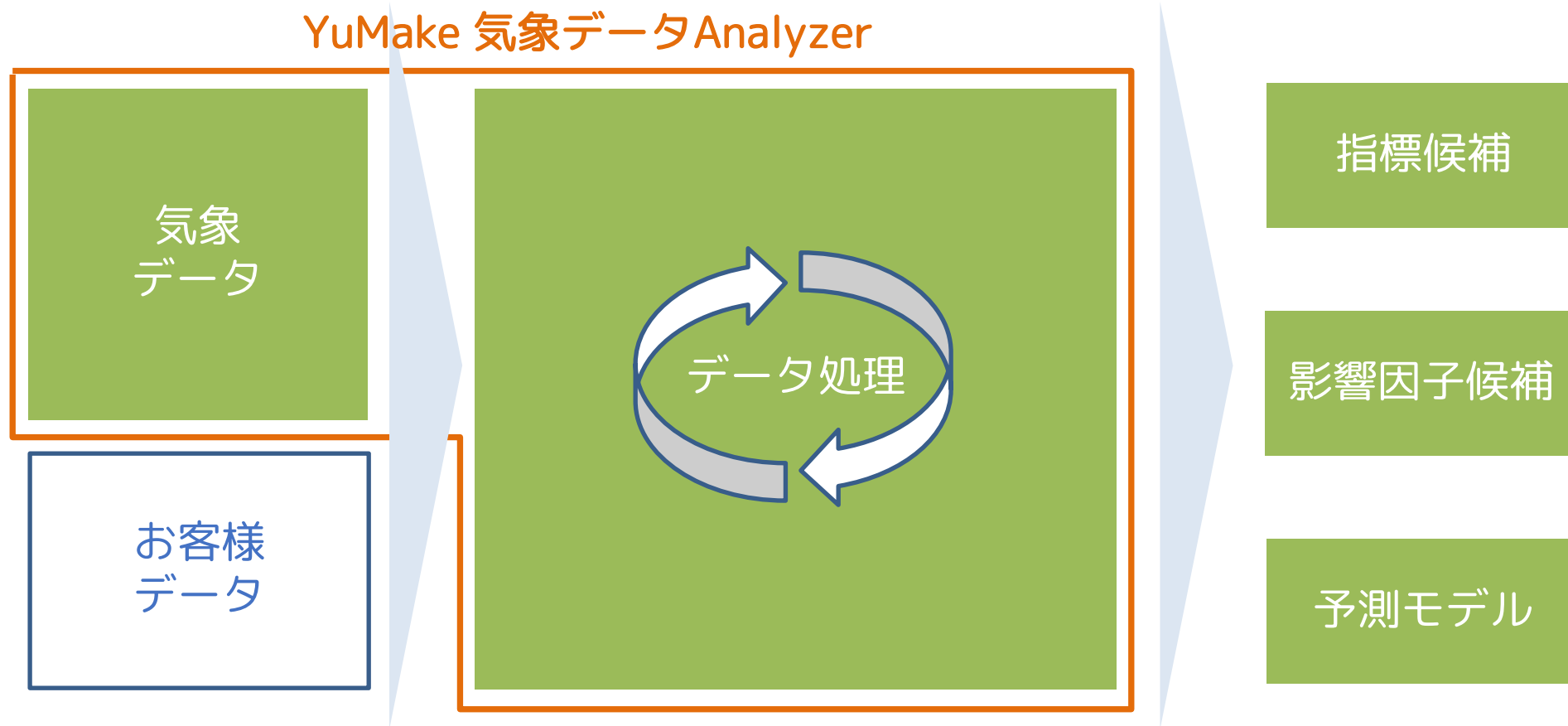
土壌温度
25.4 °C

[ハウス内]気温・湿度



[センサーデータ可視化システム]

YuMake気象データAnalyzer

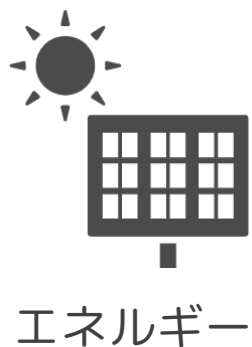


お客様の持つデータと気象データを組み合わせ、Analyzerで分析することにより
指標候補、影響因子候補、予測モデルを解析するサービス

YuMake合同会社として大切にしていること

民間気象会社の多くは、気象会社が提供するサービスとして、各業界向けのサービスを提供しているが、我々は各業界に関わってきたプロ・現場と一緒にあって付加価値を提供したい。

→業界のプロや現場とコラボレーション・協働することにより、
現場のニーズに合わせたソリューションを提供していきたい。



ウェザーマーケティングを推進する取り組みを開始



×



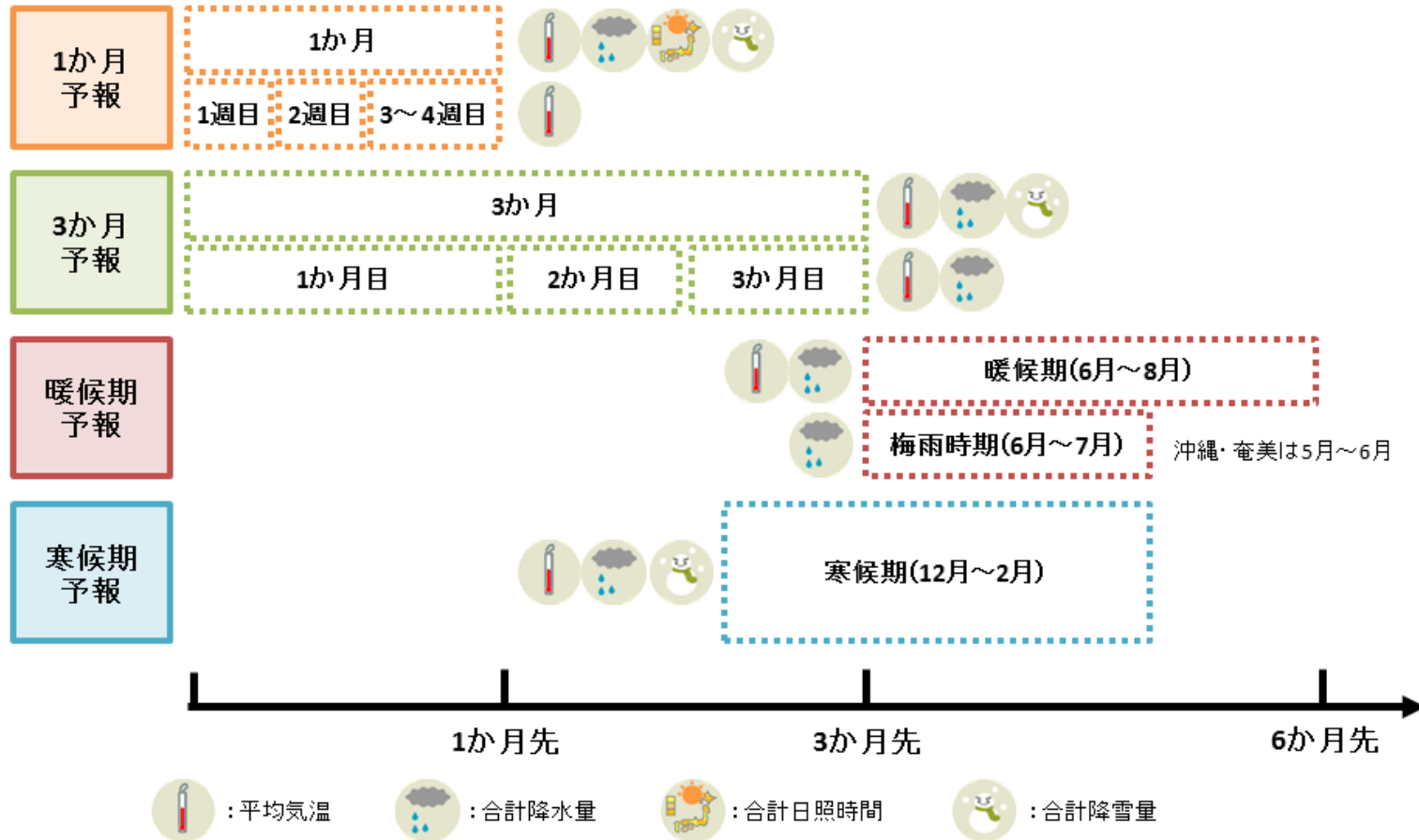
マーケティングの知見

×

気象情報活用の知見



気象庁の長期予報



予測期間によって、
手法は「数値予報」
または「統計的手法」
で傾向が予測される。

傾向予報も駆使して
価値創造を目指す。

【出典】気象庁 季節予報の種類と内容

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kisetsu_riyou/content/index.html

長期予報活用において特に大切なこと

傾向予報であるからこそ、ユーザーへの「伝え方」で、
ユーザーの「捉え方」と「行動」が変わる。

気象データ（元ネタ）と予報士による解説、
気象データ以外のデータの掛け合わせで力を発揮する。





ありがとうございました！